

## 3月16日（月）奉仕・プレゼント・賞状

六年生が、卒業前の奉仕作業を行ってくれました。普段なかなか手が届かない場所をきれいに掃除してくれたり、掲示物をはがしたり、物を運んでくれたりしてくれました。「1年生～5年生のことを考えながら取り組んだ」「六年間お世話になったことへの感謝の気持ちで行った」「普段よりきれいになったので気持ちがよかった」など、貢献の思いを達成してくれたようです。

本日も、音楽室では担任の先生への感謝の会が行われていました。六年生でした。合唱のプレゼントと感謝の言葉がありました。「〇〇先生の授業は、全部好きでした、ありがとうございました」と、泣かせるようなことを言ってくれました。担任からの言葉もありました。「このクラスで最後に歌うときに、この場にいることができよかったです」と、担任からも感謝の言葉がありました。

昨日の入間市クロスカントリー大会で優秀な成績を収めた子が、2組、校長室に報告に来てくれました。入賞したようで、メダルと賞状をもってきてくれました。その2組とは、いずれも兄（姉）弟です。一緒に練習したこと、家族が応援してくれたことなどなど、いろいろなことを想像しました。地域での活躍の裏には、様々なドラマもあったはずです。ちょうど、別の用で校長室に来た子が「僕も出たんだよ」と、そっと教えてくれました。



## 3月15日（日）お祭り

久保稲荷神社のお祭りに顔を出しました。幼稚園の子や少年野球の子が登場して、お祭りを盛り上げていました。進行の方が「ただいま、大谷選手がホームランを打って、日本が同点に迫りました」とWBCの経過を告げると、大きな拍手が起こりました。この時は、多くの日本人が勝利を信じて疑わなかったはずです。



### 3月14日（土）卒園式

近隣幼稚園の卒園式に参加してきました。本校に入学してくる子も10人以上いる幼稚園です。とても立派な態度で式が無事に終わりました。先生方や保護者の方々が**涙する姿**を見ると、こちら胸がいっぱいになってしまいます。園児の3年間の**成長ぶり**を一番実感しているのは、もしかしたら先生方かもしれません。



### 3月13日（金）授与式・感謝・放送

午前中は、**向原中学校**卒業証書授与式に参加しました。162人が義務教育を終えました。感動的でした。**別れの言葉**を3年生代表で行ったのは、本校の卒業生でした。保護者、職員、仲間、後輩に向けた感謝の言葉には、胸が熱くなりました。学校に戻ってくると、体育館で**六年生**が授与式の**練習**をしていました。扇小学校の卒業証書授与式でも感動をもらえると信じています。



音楽の最後の授業では、担任への感謝として音楽の**プレゼント**をしていました。担任やお世話になった先生が音楽室に入ると、**司会**が趣旨を説明してから会が始まりました。**合唱**を一曲、**合奏**を一曲、そして感謝の**手紙**を読んで予定したプログラムが終わります。あるクラスでは、サプライズで、音楽担当への感謝の手紙がありました。一年間の終わりが、**感謝で終わる**。素敵なことです。



**教頭**が週末の給食中に放送している「ちょっと聞いてよ」も最後となりました。自身の好きな曲を、メッセージと共に送って、**最終回**が終わりました。すぐ一で感想を依頼したところ、20を超える声が集まってきました。

「最後に**ふさわしい**曲だった」「いつも**楽しみに**していた」「とても**いい**曲だった」などなどの、嬉しい感想が集まりました。これも一つの区切りです。



## 3月12日（木）賞状・報告・学年

昼休みに、美術展と読書感想文の賞状を授与しました。県展で優秀な成績を収めた子には、校長室で私が授与しました。集まった5人の中には、**六年生**が3人いました。**卒業証書授与式**の練習をしている六年生だけあって、しっかりと手を伸ばし、右手左手と順に賞状を受け取りました。それを見ていた、三年生、二年生もまねをしてくれました。

ある**一年生**が朝、校長室に二人でやってきました。一人は付き添いです。**賞状を3枚**持って入ってきました。ある場所で行った縄跳びの大会で、**金メダル**を獲得したとのこと。学校外での活躍は、嬉しいものですが、なかなか情報が入ってきません。このように自分で報告に来てくれると、本当に感激するのです。この子は、きっと、沢山の金メダルを小学生のうちにとってくれるでしょう。

五時間目、校庭から普段あまり聞かれない元気な声が聞こえてきました。**四年生**が学年レクを行っていたのです。棒引きに続いて、**綱引き**が行われました。運動会と違って、練習試合のようなことはないのです。勝ったクラスの喜びは格別のようにです。さっそく「すぐーる」にも感想が届きました。勝ち負けよりも、**実行委員会**が考えてくれたこの時間への**感謝**が綴られていて、私も嬉しくなりました。素敵な時間だったと多くの子が書いていました。



## 3月11日（水）黙とう・作品・結晶

15年前に起きた東日本大震災を偲び、**2時46分**に黙とうを捧げました。低学年は下校している時刻なので、各クラスで学級指導をしました。**二年生**では「災害が来た時のためにどんな**準備**しておくか」を学び合っていました。「**ハンカチ**を持っている」「**名札**をつけておく」「**すぐに行動**する」「**食糧**を用意しておく」などなどの意見が出ていました。天災は忘れた頃に（忘れた所に）やってくる



ると言います。準備や訓練を怠らないようにしたいです。

一年生の教室では、たくさんの作品が机の上に並んでいました。配ったり、先生からもらったりする子もいます。入学してからの作品を先生が保存しておいて、それを改めて見直しているようです。作品集を作るのかもしれませんが。何人かの子が、私にも見せてくれました。自慢してくれました。自分でつくった懐かしい作品に再会して感動している子もいました。

理科室では、五年生が食塩水の結晶を作っていました。顕微鏡でのぞき始めたグループからは歓声が聞こえてきました。近づく「校長先生も見てください」と声をかけてくれる子もいて、きれいな結晶を見せてもらいました。「わー、きれい！」で終わっては学習は終了です。ここからどんな「？」が生まれるか、子供たちの声を聴いていると、形や対称性、出来上がった過程への「問い」の音が、いくつか聞こえてきました。



### 3月10日（火）調理・三色・校長室

おうぎ学級が月に一度の調理実習を行っていました。今回は「焼きうどん」を作りました。フライパンの上に野菜を乗せ、うどんを乗せ、炒めています。炒め係を交代して行っている班もあれば、野菜やうどんを追加する担当の子もいます。出たごみを捨てたり、机の上を片付ける担当の子もいます。中には、ずっと隣で見守る担当の子もいました。それぞれが自分の役割を果たし、おいしい調理が出来上がりました。

五年生が理科で、「試験官の中を三色にする」活動をしていました。色は下から、青→黄色→オレンジになると成功することが、見ていてわかりました。ここに本時の本質があるようです。できあがった三色の試験官、何人もの子が自慢してくれました。とてもきれいです。「きれい！」で終わることなく「なぜなのか？」という「？」がここから生まれ、さらなる学びにつながっていました。



三年生が国語で、学校のお気に入りの場所を発表するようです。事前に「校長室にくる子がいる」と知らされていたので待っていると、十人近くの子がやってきました。中で写真を撮り終わった子に、選んでくれた理由を聞いてみました。「九九検定の思い出」「わり算検定の思い出」などの説明の中に「あったかくて落ち着くから」と言ってくれた子もいます。基本的には、私が落ち着いていられる時間にしか子供は入ってこないのです、こんな見方をしてくれたのでしょう。



### 3月 9日（月）守護神・心理・調査

暖かい日だっただけに、外体育で活動する姿をたくさん見ました。卒業を控えた六年生は、ハンドボールに取り組んでいます。サッカーと違い、全員が活動しやすいこの競技は、見ていても楽しいです。練習中、一番目をひいたのはゴールキーパーです。近くから思いっきり投げってくるシュートを止めたり、取ったり、はじき出したり。恐怖感と手の痛みで打撃つ、正にチームの守護神だと思います。



おうぎ学級では、ベースボール型のゲームに取り組んでいました。ある子が打席に立つと、守備が左半分に集まっていた。先生が近くで「あっちが空いてるよ」と声をかけると、守備陣もそっちの方に一斉に移動しました。今度は、右半分ががら空きです。しかし、打者は左へ打つことを決めてしまったようで、打球は守備陣が集まった左へと飛んでいきました。スポーツの心理を垣間見た気がしました。



四年生の国語では、とても面白いことをしています。クラスの子にアンケートをとって、それを分析しているのです。グラフにしたり、文章でまとめたりするのが主な活動です。あるグループは、休日（午前中）の過ごし方を調査しました。勉強、習い事を抑えて堂々一位だったのは、子供たちの予想通り「ゲーム・テレビ」でした。どちらが多いのかも調べてもらいたいものです

### 3月 8日（日）郷土カルタ県大会

郷土カルタ県大会が、上尾で行われました。初めてこの会場に来ましたが、立派な施設で驚きました。会場には市町村の大会を勝ち上がってきた精鋭たちが、熱い戦いを繰り広げていました。「やく札」をとった時の歓声も、客席まで聞こえてくるほどでした。応援した扇っ子は、個人戦で6位。立派な成績を収めてくれました。



### 3月 7日（土）あと・・・

朝からずっと校長室に籠って残務整理、丸つけ、HP、掲示物などなど。四月中旬を思わせるような気候だったので、つい体を動かしたくなり、校内を回ることになりました。カウントダウンカレンダーは、ついに「10」が登場。空き教室には、お別れ会やお楽しみ会の準備と思われる作品がいくつかありました。春、別れの季節。感慨深い掲示物にも、たくさん出会いました。



### 3月 6日（金）チェロ・立体・漢字

職員の家族にチェリストがいます。せっかくなので、子供たちに聴かせてあげようという発案から、ヴァイオラとチェロのコンサートが実現しました。2, 3年生が参加しました。嬉しかったのは、演奏後にたくさんの質問が出たことです。「感動した!」「いい曲だった」にとどまらず、「なんで表と裏の木が違うのか」「どうしてこういう形をしているのか」「穴は何のために開いているのか」などなど、質問が止まらなかったのです。「問い」を大事にした自走する子が育っていることを実感しました。



二年生が、棒とそれを結ぶ玉を使って立体を作りました。先生からの課題は立方体でした。しかし、それにとどまらず三角錐を作った子がいます。それを知った子も、当然の



ように、**三角形**で囲まれたこの立体づくりに**挑戦**し始めました。そんなに簡単にはできません。でも、友達ができたのだから、自分もと、容易にあきらめることはしませんでした。

六年生の国語では、「なぜ漢字や言葉を学ぶのか」を学び合っていました。教科書を見たり、自分の体験を思い出したりして、様々な意見が飛び出しました。「**大人の会話**についていけるように」「会話で**言葉選び**ができるから」「考えを**伝えやすい**ように」「文章を早く**理解**できるために」「ひらがなだけだと、かえって分かりづらい」などなど。この意見、**低学年にも**聞かせてあげたいと思いました。



### 3月 5日(木) 作品・幼稚園・感動

朝、校長室に**三年生**が8人で訪ねてきました。ある子が作った作品を持っています。「**家で作ってみた**」と、自慢するために来てくれたのです。嬉しいのは、周りの友達も**一緒に喜んで**くれていること。折り紙で作ったパックが7つ。それを机に並べて説明を始めました。校長室を出ていく際には、その中の一つを、私に**プレゼント**してくれました。次の「**自走**」も楽しみにしています。



近隣の**幼稚園**の子たちが、小学校見学にやってきました。一年生の教室で**一緒に算数**の勉強をしたり、校庭に出て一年生の活動を見たり、**遊具**を見学したりしていきました。算数の勉強では、色板を使って形を作る活動をしました。一年生が**優しくヒント**を出したり、完成したらほめたりしてくれました。先輩に再開して、嬉しさのあまりその子に**抱きつく園児**もいました。



五年生が道徳で、**ピカソ**の障害から「感動」について学びました。「感動するとどんなよいことがあるのか」との導入の問いには、「伝えたくなる」「よく知ることができる」などの意見が出ました。授業の振り返りでは「ピカソは、感動したことを伝えたいと、作品を**作り続けた**のではないか」という記述がありました。感動が人を**突き動かす**こ



とを、少しでも理解してくれたようです。

### 3月 4日（水）色板・最後の書・会談

一年生の算数で、色板ならべをしていました。三角形の板を5枚使って、指定した形にする活動に取り組んでいる場面を見ました。完成した子はたくさんいましたが、どうやって並べたのか、説明するのが本来の課題のようです。5枚の三角形で出来上がった形（外側の線だけ）を見て「ここに三角形を置いた」「ここにも置いた」などなど学び合っている場面が、とても盛り上がりました。

あるクラスに入ると習字の時間でした。何気なく見ていたのですが、先生が「これが今年の最後の字になります」と教えてくれました。最後の書だけに、子供たちの気合も違っているようで、確かに緊張感あふれる空気が流れています。五年生の令和7年度最後の習字作品は「考える子」。他の学年の最後の書も、取材したいと思います。

六年生との会談も折り返し地点を過ぎました。今年は何のグループにも同じ質問をすることになっています。毎回おもしろい話を聴かせてもらえます。「先生に怒られた思い出」で、この日聴かせてもらった話は、なぜか笑いが起きました。ある事件があり、当時の担任が熱く語りだした。進退をかけたような話だった。みんながそれを聴いて泣き出した。「そんなこともあった」「そんな時もあった」と、盛り上がってしまいました。



### 3月 3日（火）探求・ライブ・三角形

六年生は、小学校最後の授業参観・懇談会。ずっと取り組んできた探求の発表を行いました。それぞれが関心を持っていたり、「問い」が生まれたことについて、ずっと取り組んできた成果を披露してくれました。「食品ロス」「感情」「虚数」「努力」「涙」「学校」「友達」「海」「宇宙」「野球」「サッカー」「じゃんけん」「戦争」「平和」「未来」



「アレルギー」「筋肉」「平等」「健康」「方言」「血液」「音楽」などなどが取り上げられて、とってもおもしろい発表でした。感心してしまうような報告もありました。

器楽クラブが、20分休みに2Daysコンサートを開きました。音楽室には、100人を越える扇っ子や職員が集まってきました。開演前には、すごい熱気となりました。演奏はすばらしく、参加者も感動したと思います。緊張のあまり失敗したと言っていた子もいますが、演奏した子たちの表情からは達成感を感じました。明日も開催されます。もう一度、観に行ってみようと思います。

おうぎ学級では「三角形でひらめき」という活動をしていました。紙を長方形に切ってからたたみ、三角形を作ります。たくさんできた三角形を使って、何かを作っていくようです。すでに出来上がった三角形を、立てて重ねている子もいました。その三角形で輪飾りを作り始めた子もいます。教師の意図（全部切って、三角形が出来上がったら作品づくりをする）を、いい意味で裏切った活動がありました。自走する子、ここでも育っています。



### 3月 2日（月）卒業式・春作品・言葉

卒業式の練習が始まりました。座り方、起立・礼、呼名などなどについて、基本的なことの指導から始まります。私は毎年同じ話をしています。「式」の意味です。儀式として、決められたことをそのとおりに行うようにと話しました。感動的だった、六年生を送る「会」とは違います。入間市立の公立小学校の卒業証書授与式です。加えて教室でも、日々の授業で練習ができることも伝えました。

四年生の教室に行くと、書写の時間でした。習字で、指定された字の練習をしています。黒板を見ると、素敵な作品が貼ってあります。早く終わった子のジャンプ課題だそうです。テーマは「春」。字だけではなく、絵も添えられています。立派な作品になっているのです。意外な子が意外な字を選んだり、意外な絵のセンスを発揮したりしてい



て、驚きました。

六年生が国語で、「大切にしたい言葉」を学び合っていました。卒業を控えた今、どんな言葉を大切にしたいかをそれぞれの子が書きだしました。「ありがとう」「努力」「勉強」「友だち」「自信」「達成感」「家族」「真摯な心」「感謝」「自分」などなど、それぞれの子が大切にしたい言葉を書いていました。大谷翔平の影響でしょうか、「睡眠」と書いた子もいます。大事にしてもらいたいです。



### 3月 1日（日）ゴール・担任

今日は朝から校長室。チャレンジ問題の丸つけ、HP更新、掲示物、講話朝会の構成、すぐーるで送られてくる感想等の点検などなど。今日から3月。あと一か月。落着いた生活で、年度のゴールを目指していきたいです。

私が担任をしていた時に、子供に渡したものを大切に保管して下さった保護者がいます。その方がそれを見せてくれました。今のようにデジカメで簡単に写真を撮ったり、アプリで加工することができなかった時代の制作物ですから、たいしたことはないのですが、大事にとっておいてもらったことが嬉しくて、ついつい家でゆっくりと見て、楽しんでしまいました。

